

国際交流
横浜市長期
異文化理解

目指せ国際都市

横浜

~Go Well with Neighbors~



コンセプト

Go Well with Neighbors

▶ 隣人と上手くやっていこう



コンセプトへの道すじ

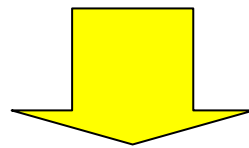
外国人市民？



私たちは同じ横浜人



横浜人は隣人同士



私たちは「隣人」同士



目指すべき横浜のイメージ

- 肌で感じる異文化体験
- 国籍や言葉の壁など意識せずに柔軟に付き合える関係

日本人が日本人と普通に意識せず付き合うように、
日本人と外国人が付き合える横浜



イメージの実現へ

目指すべきイメージ



現実的な目標を1つ1つ達成



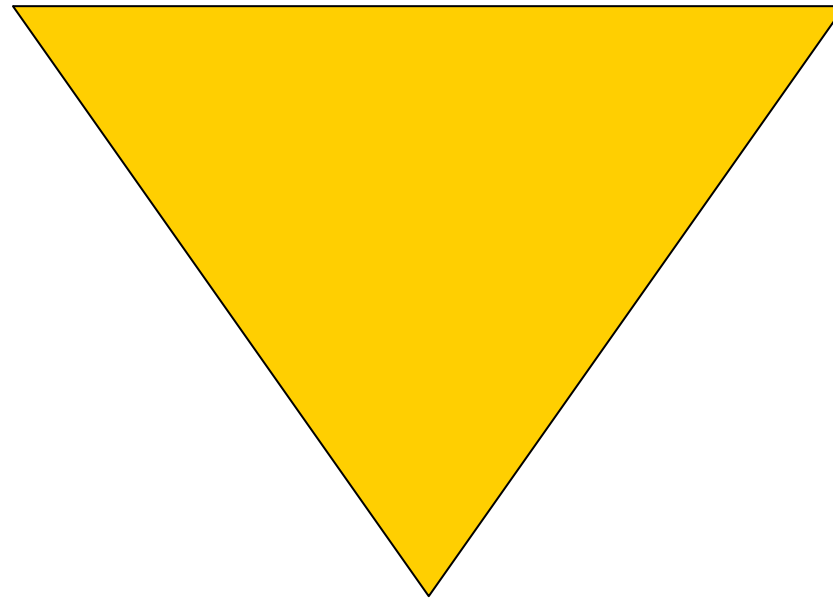
20年後の横浜へ

実現へ向けた三本柱

教育

文化的
経済活動

PR活動





なぜ教育が重要なのか

- 「心の壁」を取り除く

「教育」は人の考え方に大きな影響を与えるものであり、異文化理解の促進に役立つ。

- 長期ビジョン

行政が長期的な視点に立って変化を求めた場合、様々な行政政策の中で教育が最も有効な手段と言える。



教育

①学校教育

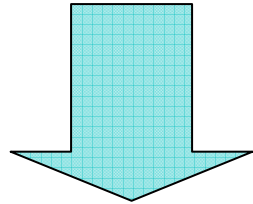
- ・小・中学校における教育
- ・高校・大学における教育

②地域における教育



①学校教育

- **小中学校での教育**
 - ・体験型の異文化交流
 - ・外国人児童の受け入れ体制を作る
- **高校・大学での教育**
 - ・市政が掲げる国際理解のビジョンを講義等で紹介
 - ・学生ならではの政策提案の活発化



様々な世代の意見を組み込む

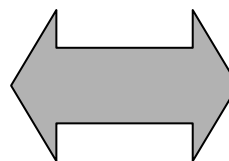
② 地域教育

○ 言語教育

相互理解の構築

○ 文化教育

・料理
・音楽
・スポーツ など



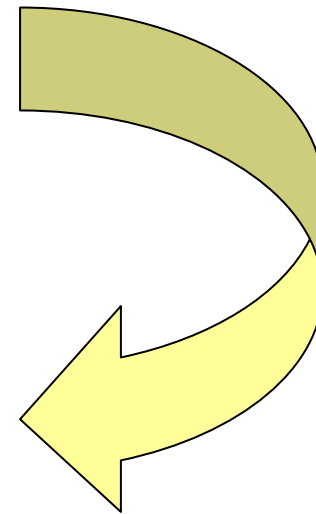
文化的経済活動



2つの教育を通して

- 市政レベルでの広告・PRの必要性
- 行政と教育機関の連携

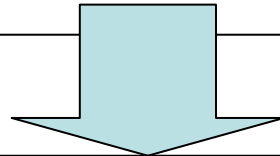
継続的な取り組み



国際都市・横浜の魅力を文化的経済活動に活かす

横浜の魅力は……

- ①市内に多様な文化が共生しており、訪れる人が異文化体験できる場所が数多くある。
- ②対人関係で柔軟な市民が多いため、隣人としての在留外国人も暮らしやすい環境にある。



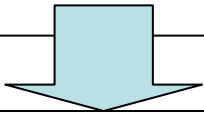
横浜の魅力を国内・外にアピールし、魅力を活かしたまちづくりやプロモーション活動を行うことで、国際都市としての文化的経済活動を活性化する。

STEP 1 横浜の魅力を国内(特に地方)へアピール

プチ海外体験ができる都市・横浜！



モデルは中華街。その他、鶴見区潮田地区のように、メジャーではないが、異文化体験できる様々な場所がある。



プチ・海外体験できる場면을市内に数多く創り出すためには。。。

- 1 隣人である在住外国人が、自らの文化をアピールし、活躍する機会を数多く創る。
- 2 地域の特性を活かした情報発信と交流・共生のための施設を整備する。

STEP 2 横浜の魅力を海外へアピール

外国人が暮らしたくなる都市・横浜！

多文化共生都市としての横浜の魅力や
異文化に対して柔軟な市民性をアピールする
ことで、横浜を訪れ、滞在する外国人を増やす。

外国人が暮らしたくなるためには。。。。

- 1 日本人の良さ、日本の文化を伝える場の必要性
- 2 横浜の隣にある国際観光都市・東京や鎌倉との役割分担

国際都市・横浜をPRするための3段階

隣人としての「外国人市民」と「日本人市民」
の相互理解と交流



横浜の魅力を国内へアピール

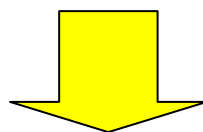


横浜の魅力を海外へアピール

20年後

横浜が世界へ発信するもの

- 多文化を体験できる街
- 『らしさ』を大切にして暮らせる街



多文化共生



おわりに

- 今回の活動こそ国際交流・異文化理解の一端
- 横浜市としての議論・活動にボトムアップ
- 私たち1人1人の活動にフィードバック